

---

## 平成19年度客員教授 作家 井上ひさし氏、9月に集中講義を担当します

平成19年度札幌大学客員教授に就任する作家井上ひさし氏は、文化学部の新設科目「アート・プロデュース論Ⅱ／秋学期集中／2単位／選択科目」を担当します。

授業は、アート・プロデュースという仕事の本質について9月に集中講義で実施します。

### 【アート・プロデュース論について】

井上ひさし氏の構想を受け、平成19年度文化学部の新設科目として開講します。

芸術文化の創造活動は、その主体たるアーティストの存在なしには考えられませんが、もうひとつ、アーティストの才能を支えるアート・マネージャー（アート・プロデューサー）の存在なくしてその才能の大きな展開が容易でないことも明らかです。アート・マネージャーの仕事は、アーティストの「閃き」に資金を投入しつつ、他の才能とのコラボレーションを展開し、人々に感銘を与えること、ということになります。

アート・プロデュース論では、芸術活動を展開・運営するために必要な、具体的で専門的知識と技術の学習として、映像、舞台、美術、音楽、編集、現代アートなど、広く芸術一般に関する基礎学習を行います。また、アート・プロデュース論はⅠ（平成19年度客員教授、ジャーナリスト和多田 進氏担当、春学期実施）とⅡ（井上ひさし氏担当、秋学期集中講義）で実施します。この授業は全学部・全学年の学生が履修することができます。